

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会
第二大野保育園

1. はじめに

- 平成28年度は園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。
- 28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。
- 28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。
- 28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。28年度は、園児58名でスタート。1つは家庭を向けて、2歳児の多待機を解消し、1歳児の多待機を解消し、入所園児を増やした。

* 毎月初日の園児数 *

	北斗市	函館市	七飯町	合計
4月	56	1	1	58名
5月	58	1	1	60名
6月	62	1	1	64名
7月	62	1	1	64名
8月	65	1		66名
9月	65	1		66名
10月	62	1		63名
11月	65	1		66名
12月	66	1		67名
1月	66	1		67名
2月	66	1		67名
3月	66	1		67名

- 28年度の広域入所は、函館市（1名）七飯町（1名）の合計2名

2. 保育活動

- ①保育目標について

心身共に健康で、生活が豊かになり、成長し、子どもが安心して生活できるように努めます。また、子どもが安心して生活できるように努めます。また、子どもが安心して生活できるように努めます。

 - ・元気を遊ぶ子（健康に関する心構えを育てる）
 - ・友達を大切にし、思いやりのある子（言葉や礼儀、感謝の心を育てる）
 - ・自分の気持ちを話せる子（積極性・根拠性・自主性を育てる）
 - ・最後まで諦めず頑張る子（自主性・協調性・社会性を育てる）
 - ・協調性のある子（自主性・協調性・社会性を育てる）
- ②保育内容について

保育所保育指針に基づき、あわせて本園の保育目標を考慮し保育を進めた。又、一人ひとりの発達過程に応じて個人差に配慮した。自然や地域との関わりや、乳児や障がい児との関わりも大切にしながら心の育ちを助長してきた。子どもたちの個性を大切にしながら基本的な生活習慣の確立を図った。

 - ・戸外活動を活発に行い、砂遊び・水遊び・雪遊びを積極的に行った。
 - ・裸足・薄着の習慣を付け、健康と体力作りに繋げる。
 - ・縦割り保育の導入をして異年齢児との交流を図る。
 - ・保護者参加の行事を行うことにより保護者との交流を深め、保護者に保育園での子ども達の様子を見てもらう。
 - ・避難訓練・交通安全指導・食育指導・保健指導を実施し、万が一の時の避難行動を習得したり、自分の体の健康に関心を持つ。

③ 保育計画について

- 0歳児～5歳児までの基本的な指導計画の中で、保育課程・食育計画・保健計画をもとにして年案・月案・3歳未満児の個別月案・週日案と適切に立てられ保育を進めることができた。
- 子どもの発達状況や日々の状態によっては指導計画にとられず、柔軟に保育を進めた。
- 障がい児に対しては個別の指導計画を立案し保育を進め、保育士の連携体制により個別での関わりも十分に行えた。
- 各書類に関しては常に保育を見直し、定期的に自己評価を行い、その結果に基づきより良いものを作り上げる努力をした。

④ 保育環境について

- 子ども達が楽しく安心して快適に過ごし、様々な活動が豊かなものとなり、又安全に生活することを目標に下記のように環境を整えて保育を進めた。
- 一人ひとりの子どもが保護者と離れて長時間過ごしていても不安を感じる事がなく、安心して過ごせるよう家庭的な雰囲気作りを心がけ、保育士が何時でも応じることができるように身近にいた。
- 室内外の清潔に心がけ、保育室・トイレ・手洗い場等は特に清潔を保ち、毎日の清掃・消毒を徹底して行った。
- 園児が使用する寝具・マット・食器・玩具・遊具等の点検と消毒を怠らず、清潔を保つように心がけた。(月に1回の点検と毎日の点検)
- 各保育室の採光・温度・湿度・冷暖房の使用に注意し、十分な換気を行った。又、ホール・各保育室に空気清浄機を設置し、ウイルスの除去を図った。
- 園舎内外の点検・管理を重視し、古い物から交換や修理をして安全を心がけた。(施設等自主点検表・火気関係自主点検表を利用)

3. 特別保育事業について

① 障がい児保育

出来るだけ適切な環境の中で保育ができるよう、通常は健常児の中での保育を進めたが、難しい時は個別での保育を進めた。また、囑託医や専門機関(つくしんぼ学級・療育センター・保健師)との連携を密にするとともに、必要に応じては専門機関からの助言を受けたり、直接出かけて見学や勉強会等も行った。療育センターとの関わりを持ち、自閉症の疑いのある子を含めて2名受け入れた。

* 28年度障がい児入所状況 *

自閉症児 (軽度)	5歳児	1名	4月～3月
自己調整・言語発達遅滞 (軽度)	5歳児	1名	7月～3月

② 世代間交流

お年寄りとの触れ合いを通して感謝の心や思いやりの心を育てることができたと思う。交流会の回を重ねるごとにお年寄りも子ども達も笑顔が増えていった。今年度は2月の老人施設訪問が、老人施設側で感染症が流行したため中止となったが、その他は予定通り交流会を行うことができた。大野農業高校の、就業体験は28年度は行わないとのことであった。

* 世代間交流実施状況 *

交流実施日	交流内容	場所	お年寄り参加人数	園児参加人数
1 4月27日	清華園交流会 (歌・お遊戯・他)	清華園	52名	12名
2 7月1日	七夕交流会 (笹飾り・歌・他・会食)	保育園	10名	29名
3 7月27日	敬楽荘訪問 (歌・お遊戯・触れ合い遊び)	敬楽荘	33名	29名
4 8月3日	清華園『誕生会』 (歌・お遊戯・触れ合い遊び・プレゼントを渡す)	清華園	73名	11名
5 9月13日	清華園デイサービス訪問『誕生会』 (歌・お遊戯・触れ合い遊び・プレゼントを渡す)	清華園 デイ	18名	12名
6 9月15日	きずな・ゆとり寮訪問 (歌・お遊戯・触れ合い遊び・ゲーム)	ゆとり寮	32名	18名
7 9月16日	祖父母とバス遠足 (ニチレイフーズ工場見学・グリーンピア大沼でお弁当を食べる)	ニチレイ工場 グリーンピア 大沼	10名	12名
8 11月17日	敬楽荘デイサービス訪問 (歌・お遊戯)	敬楽荘デイ	23名	17名
9 1月28日	せせらぎ交流会 (各クラス発表・会食)	保育園	19名	50名
10 2月8日	清華園訪問『誕生会』 (歌・お遊戯・他)	清華園	感染症流行のため中止	
11 3月4日	お楽しみ会 (年長児祖父母との交流会・ゲーム・触れ合い遊び・会食)	保育園		

* 地域における異年齢児交流実施状況 *

	交流実施日	交流内容	場所
1	8月6日	小学生との交流（プール遊び・会食・他）	保育園
2	8月18日～19日	大野中学校生との交流（職場体験・2年生）	保育園
3	8月23日	大野中学校生との交流（職場体験・1年生）	保育園

③ 延長保育

保護者の就労形態から求められる必要性の高い事業なので積極的に行った。28年度は、計画より利用人数が多かった。午前7時より午後7時までの開園時間とし、月曜日～土曜日まで行った。

* 保育標準時間認定…午後6時～午後7時 1回200円の延長保育料（おやつ代含）

* 保育短時間認定…午前7時～午前8時 無料

午後4時～午後5時 1回150円の延長保育料

午後5時～午後6時 1回150円の延長保育料

午後6時～午後7時 1回200円の延長保育料（おやつ代含）

を徴収した。職員体制は、午後5時00分までは6人で、午後5時30分までは4人で、午後6時00分までは3人で、それ以降は2人で保育にあたった。2人で保育する場合は、2人の役割分担を明確化し慎重に保育を進めた。但し、0～1歳児や園児の人数が多い場合はその時の人数に合わせて担当保育士を増員し、保育を進めた。

* 月別延長保育利用状況 *

	開設日数		利用人数			開設日数		利用人数	
	標準時間	短時間	標準時間	短時間		標準時間	短時間		
4月	25	20	66		10月	25	21	75	
5月	23	20	98	1	11月	24	21	119	
6月	26	23	116		12月	24	23	98	
7月	25	25	134		1月	23	20	113	
8月	26	24	121		2月	23	22	128	
9月	24	20	100		3月	26	24	136	1
					合計	294	263	1304	2

④ 一時預かり保育

保護者のパート就労や疾病・入院及び私的な理由等により一時的に保育が必要と認められる乳幼児を対象に行う。保育時間を基本的に午前8時00分から午後4時00分とし、月曜日～土曜日まで行った。通常保育園児と同年齢のクラスに入り保育を受け利用料としては1日1,800円（昼食・おやつ300円、保育料1,500円）とした。

28年度は0・1歳児の利用が主であった。

* 月別一時預かり保育利用状況 *

	開設日数		利用人数			開設日数		利用人数	
	標準時間	短時間	標準時間	短時間		標準時間	短時間		
4月	25				10月	25	12	13	
5月	23				11月	24	10	14	
6月	26				12月	24	9	9	
7月	25				1月	23	11	15	
8月	26	6	6	6	2月	23	13	21	
9月	24	7	7	7	3月	26	8	13	
					合計	294	76	98	

4. 給食について

- ・ 薄味を心がけ、おいしく、食欲をそそる盛りつけで提供した。
- ・ アレルギー除去食・離乳食ともにも出来る範囲で調理し提供した。
- ・ 「友達と一緒に楽しく食べる」ことの中で、自然に偏食がなくなったり、望ましい食事の態度が養われるなどの集団ならではの長所もあり、又仲間意識や社会性を育て、良い集団作りをするための重要な役割になった。
- ・ 調理室は衛生的・安全面ともに十分な配慮の中で提供できた。
- ・ 栄養士との連携を密にとり、食材・産地の安全面に十分注意し、今後も子どもにとってより安全な給食を提供していきたい。
- ・ アレルギー食の子には、はっきりとわかる別の食器に名前を付けて盛りつけ、間違いのないように提供した。
- ・ 春・夏・秋・冬に行う園全体での食育指導にも繋げていった。

5. 職員研修について

- ・園長・主任保育士・保育士（正職・常勤臨時）1回以上の研修会に参加し、研修会報告書を作成し職員会議において発表し論議しあう。28年度は園外での研修会に15回参加できた。又、園内研修も13回行った。

平成28年度 職員研修実施状況

1	4月20日	運動会実技研修会2016	北斗市	保育士	2名
2	6月16日～17日	北海道保育研究大会	札幌市	主任保育士	1名
3	7月2日	要保護児童対策地域協議会に関する研修会	函館市	保育士	1名
4	7月9日	渡島保育協議会 特別支援教育部会研修会	北斗市	主任保育士 保育士	1名 2名
5	7月25日	北斗市内教職員・保育士 夏季研修会	北斗市	園長	1名
6	8月18日～19日	保育専門講座 ～乳児・食育編～	札幌市	保育士	1名
7	8月19日	きりのめサロン	函館市	保育士	2名
8	9月13日～14日	きりのめトレーニングセミナー	函館市	保育士	1名
9	9月15日	北斗市保育連合会研修会	北斗市	主任保育士 保育士	1名 6名
10	10月1日	渡島保育協議会 保育士研修会	北斗市	園長 主任保育士	1名 1名
11	10月22日	渡島保育協議会 特別支援教育部会研修会	北斗市	園長 主任保育士 保育士	1名 1名 2名
12	11月16日	感染症対策担当者研修会	函館市	保育士	1名
13	11月19日	渡島保育協議会 保育士研修会	北斗市	園長 主任保育士 保育士	1名 1名 3名
14	11月25日	函館児童相談所 児童虐待防止講演会	函館市	保育士	1名
15	12月9日	法人役員・施設長専門研修	札幌市	園長	1名

6. 安全点検について

- ・園内外の点検を日頃から徹底して行い、古い物や危険な物から交換・修理を行った。
- ・玩具・遊具は、使用できない物や破損した物から取り替えを行い、安全な玩具を提供した。
- ・玩具は毎週土曜日又は、必要に応じて随時消毒を行い、清潔を保つ努力をした。
- ・職員会議などで、起こりうる危険・事故防止の為には何をどうすればよいかを話し合いながら進めることが出来た。（ヒヤリ・ハットについて）
- ・遊具の特性や機能を全保育士が把握し、十分な配慮の中で遊べるよう努力した。特に砂場の管理は重視し、清潔な状態を保つ努力をした。
- ・事故防止対策として午前9時30分～午後2時30分と午後6時00分～午後7時00分まで玄関を施錠した。コール音で職員が確認後、玄関を開けるようにした。又、各クラスにはアラームキッズを備え、散歩時も携帯した。
- ・各保育室とトイレ前の「手きれいいき」（消毒器）を使用し、衛生面や消毒への意識をより高め習慣化を行った。
- ・保護者の送迎時に毎年起こる車上荒らし防止のため、玄関に左右1カ所ずつ防犯灯と防犯カメラを設置した。
- ・各種マニュアルを作成し、万が一の時に慌てることなく適切に対応できるように心がけた。

7. 職員の状況について

平成28年度 3月の状況

職 種	人 数	備 考
園 長	1名	正職 1名
主任保育士	1名	正職 1名
保 育 士	16名	正職 5名 常勤臨時 4名 パート 7名
調 理 員	3名	正職 1名 パート 2名
用 務 員	1名	給食兼務 常勤臨時 1名
合 計	22名	

8. 施設整備及び備品購入について

(建物)

- ・年中児・年長児保育室2部屋 床貼り替え工事
- ・屋根葺き替え工事
- ・天窓取り替え工事

(備品)

- ・4保育室床暖ストーブ
- ・おゆうぎ室ストーブ

(構築物)

- ・なし

9. 年間行事について

古い伝統行事の中から今日に伝えられているもの、現代の社会生活・園生活の必要性を考慮しながら子どもの生活に関わりが持て、楽しい企画となるように計画し実施した。年間計画の中で保護者への参加を呼びかけ、保護者の心構えも整え協力体制をお願いした。毎月行われる避難訓練・交通安全指導は一貫性を持ち行うことができた。指導後のゲーム等も指導に関わる内容として、遊びながら一貫性を身につけることができた。指導後のゲーム等も園行事の中には、「毎年行われるから今年も行おう」といった意味の薄いものや、意味はあっても見せるだけになったり、保育士の都合の良い指導とならないよう、又、マンネリ化とならないよう行事の選択や方法も今後考慮していきたい。

年間行事は、施設側の都合により訪問交流会が1回中止になった以外は、計画通りに終了する。

*平成28年度年間行事実施一覧表添付

平成28年度 年間行事実施一覧表

	上 旬	中 旬	下 旬
4月	1日・対面式	11日・父母会総会	25日・園児健康診断 (1回目) 27日・清華園交流会 (年長児)
5月	2日・お花見散歩	14日・保育参観 (全クラス) 16日・個人面談開始 (全クラス)	25日・北斗市交通安全 教室
6月	2日・歯磨き指導 10日・園児歯科検診	18日・親子バス遠足	
7月	1日・七夕交流会 (年中・年長児) 7日・七夕会 8日・笹焼き会	12日・プール開き 15日・お泊まり会 (年長児)	27日・敬楽荘訪問 (年中・年長児)
8月	3日・清華園誕生会 (年長児) 6日・小学生交流会 (年長児)		
9月	4日・二園合同運動会	13日・清華園デイ・ サービス訪問(年長児) 15日・きずな・ゆとり寮 訪問(年中児) 16日・秋の徒歩遠足 16日・年長児祖父母遠足	
10月	3日・修園旅行(年長児)	12日・プルーン・りんご 狩り(年中・年長児) 14日・園児健康診断 (2回目)	31日・ハロウィン パーティー
11月		12日・おゆうぎ会 17日・敬楽荘デイ・ サービス訪問(年中児)	
12月	7日・おもちつき会		22日・クリスマス会 27日・まゆ玉飾り
1月	7日・どんど焼き (年少・年中・年長児)		20日・そり遠足 (年中・年長児) 28日・せせらぎ交流会
2月	3日・豆まき会 4日・保育参観 (0,1歳児・年長児) 8日・清華園誕生会 (年長児・中止)	18日・保育参観 (2歳児・年少児)	25日・保育参観 (年中児)
3月	3日・ひなまつり会 4日・お楽しみ会 (年長児)	11日・第40回卒園式	21日・お別れ会 21日・新入園児説明会

* 毎月の行事 ・ 避難訓練 ・ 交通安全指導
 ・ お誕生会 ・ 身体測定
 * 年4回の行事 ・ 食育指導(春・夏・秋・冬)